

## 29. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号：030329403

病院施設番号：030329 臨床研修病院の名称：公益社団法人石川勤労者医療協会城北病院

臨床研修病院群番号： 臨床研修病院群名：

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	城北病院初期臨床研修プログラム 403
2. 研修プログラムの特色	<p>城北病院は、臨床医学の基本としての総合的な診断能力と救命救急も含めた基本的な診療技術を身につけ、かつプライマリ・ケアを実践できる医師の育成に相応しいフィールドを有する地域密着型の病院である。症例が豊富であり臨床を効率よく学べること、各科の協力が得られやすく、看護、MSW、リハビリテーションなどの各部門と連携がよくチーム医療を実践しやすいこと、介護、福祉の時代に学ぶべき在宅医療、介護の現場が近くにあることなどがあげられる。また、患者に近い病院として患者の立場に立った医療倫理を実践しやすい病院である。</p> <p>当院の研修プログラムは、これら地域密着型の病院の良さが最大限に生かされ、厚生労働省の臨床研修の到達目標も達成することができるプログラムである。</p> <p>(1) 2年間の初期臨床研修期間中の研修方式はローテーションを基本とし、内科・外科を始め9科目を必修として研修目標を達成する。</p> <p>(2) 研修については基幹型臨床研修病院である城北病院および本研修プログラムに参加する協力型病院、協力施設にて実施する。研修期間全体の52週以上は、基幹型臨床研修病院にて行う。</p> <p>(3) 1年次は内科系、外科系2つの急性期病棟を中心に研修を行ない、外来診療、在宅医療、救急については別途並行したカリキュラムを組んで、プライマリ・ケアをバランスよく修得する。</p> <p>(4) 病院に療養病棟、健診センターを併設しており、外来機能に特化した城北診療所や在宅・介護分野を担う城北クリニックとも連携し、高齢者医療、在宅医療、福祉・介護や保健予防なども見据えた研修を実施する。</p> <p>(5) 職員・地域住民と共につくる健康増進の取り組みに参加し、住民と共に進める医療を経験・実践する。</p> <p>(6) 無料低額診療事業を行う医療機関として、お金のある無しに関わらない、いのちの平等を守り、SDHの視点でとらえることができる医師理念を体得する。</p> <p>(7) 地域医療研修に重点をおいた研修が可能で、最長6ヶ月間の診療所での地域医療研修が可能である。(ただし最長6か月できるのは輪島診療所、羽咋診療所に限る)</p> <p>(8) 内科専門研修プログラム、総合診療科専門研修プログラムの基幹病院になっており、初期研修終了後、引き続き当院で専門医研修(3年)に参加可能である。また、内科学会、外科学会、整形外科学会、小児科学会、精神科、リハビリテーション科、プライマリ・ケア学会など学会の教育関連・研修施設等に認定されており、専門医取得を目指さない研修医も引き続き当院で各科後期研修(3年)に参加可能である。</p>

<p>3. 臨床研修の目標の概要</p>	<p>城北病院初期臨床研修の5つの研修アウトカム</p> <p>城北病院初期臨床研修プログラムでは、初期研修における目標設定に関し、従来の詳細な教育目標＝一般目標＋個別目標を用いず、初期研修修了時の医師としての総合能力を涵養することを重視する観点から、各診療科共通の継続性と一貫性を持った「城北病院初期臨床研修における5つのアウトカム」を設定した。</p> <p>1、基本的臨床能力の獲得 (Core Clinical Competency)</p> <p>1-1. 安全な医療の遂行のためにコアクリニカルスキル（技能）の獲得をする</p> <p>1-2. 良好な医師—スタッフ関係、医師—患者関係の構築のためにコミュニケーションスキル（態度）の獲得をする</p> <p>1-3. 臨床医として必要な医学知識の習得をする</p> <p>1-4. 主治医として臨床推論、検査、診断、初期対応、疾患によってはマネジメントや専門医につなげるための能力を獲得する</p> <p>1-5. チーム医療を実践する能力を涵養する</p> <p>2、プロフェッショナリズムの涵養 (Professionalism as a Doctor)</p> <p>2-1. 医師の社会的役割と責任を理解する</p> <p>2-2. 患者の立場に立った医療を理解する</p> <p>2-3. 医療者としての倫理観を涵養し、良心に従い行動する</p> <p>2-4. 問題を抱える一人一人に寄り添い、SDHをはじめとした社会的背景まで熟慮した医療を提供する</p> <p>3、自己学習能力の涵養 (Self-directed learning)</p> <p>3-1. 医師の持つ生涯学習の必要性を理解する</p> <p>3-2. 自ら学習していく方法論の理解と定着を行う</p> <p>3-3. 臨床研究の必要性に対する理解と実践を行う</p> <p>3-4. 後進と多職種育成に積極的に関わる</p> <p>4、包括的医療に対する理解と実践 (Comprehensive Medical Care)</p> <p>4-1. 救急医療、急性期から慢性期医療、そして、在宅ケア、緩和終末期医療、予防医療を経験し、医療・介護・福祉のつながりを理解する</p> <p>4-2. いのちの平等という立場から患者の受療権を守り、医療に限らず、社会情勢や社会制度全体を理解する</p> <p>4-3. 社会的資源の適応を理解し、効果的に活用する</p> <p>5、地域医療に対する理解と実践 (Community Medicine)</p> <p>5-1. 他の医療機関との連携の重要性を理解する</p> <p>5-2. 地域のニーズを把握する姿勢を涵養し、実践する</p> <p>5-3. 地域住民の健康促進、疾病予防活動の推進を行う</p> <p>5-4. 地域の人たちと協力し、ともに成長し、ともに学ぶ</p> <p>5-5. 災害時には地域の連携を理解し可能な役割を果たす</p>
<p>4. 研修期間</p>	<p>( 2 ) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)</p>

備考	<p>研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。</p> <p>研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。</p> <p>1、内科専門研修プログラム、総合診療科専門研修プログラムの基幹病院になっており、初期研修修了後、引き続き当院で専門医研修（3年）に参加可能である。</p> <p>2、専門医取得を目指さない研修医も、引き続き当院で各科後期研修（3年）に参加可能である。後期研修は、内科（各専門研修）・外科・整形外科・小児科・精神科・リハビリテーション科、家庭医医療のプログラムがある。</p> <p>i) 研修病院は城北病院、および必要に応じて外部の専門性の高い施設等と連携した研修も考慮する。</p> <p>iii) 学会認定医・専門医の資格取得をはじめ、各人のキャリアアップを援助する。</p> <p>iv) 常勤医師として採用し、石川勤労者医療協会諸規定に基づき処遇される。</p> <p>v) 外部での後期研修・専門研修制度がある。（身分・給与保障あり）</p> <p>3、他施設へ移籍する場合は、最低1か月前に申し出をし、手続きを行う。</p>
----	---

5. 臨床研修を行う分野		研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間）				
		<p>* 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。</p> <p>* 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。</p> <p>* 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。</p>				
		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来	
(記入例) x x 科		1234567	〇〇 病院	〇週	〇週	
必修科目・分野	内科	030329	城北病院	28週	4週	
		076913	富山協立病院	上記期間のうち8週		
		030484	京都民医連中央病院			
	救急部門	030329	城北病院	17週		
	地域医療		076913	富山協立病院		一般外来 0日 在宅診療 0.4週
			035122	珠洲市総合病院	4週（左記の）中から選んで研修	一般外来 0.4週 在宅診療 0.1週
			035123	市立輪島病院		一般外来 0.4週 在宅診療 0.1週
			050035	公立宇出津総合病院		一般外来 0.2週 在宅診療 0.1週
			035125	公立穴水総合病院		一般外来 0.2週 在宅診療 0.1週
			033667	公立つるぎ病院		一般外来 0.1週 在宅診療 0.1週
			032990	城北診療所		一般外来 1.6週 在宅診療 0日
			032991	城北クリニック		一般外来 1.6週 在宅診療 1.6週
			032992	健生クリニック		一般外来 1.6週 在宅診療 1.6週
			035135	寺井病院		一般外来 3.6週 在宅診療 0.8週
		032988	輪島診療所	一般外来 1.6週 在宅診療 0.8週		
	032989	羽咋診療所	一般外来 2.8週 在宅診療 0.8週			

		126759	小松みなみ診療所		一般外来 3.6週 在宅診療 1.6週
		032968	水橋診療所		一般外来 2.4週 在宅診療 1.6週
		032969	富山診療所		一般外来 0.4週 在宅診療 0日
		076912	光陽生協病院		一般外来 0日 在宅診療 0.8週
		066780	光陽生協クリニック		一般外来 0.8週 在宅診療 0日
		066779	つるが生協診療所		一般外来 0.8週 在宅診療 0.8日
		168186	上荒屋クリニック		一般外来 3.6週 在宅診療 0.8週
	外科	030329	城北病院	7週	0週
		030484	京都民医連中央病院		0週
	小児科	030329	城北病院	8週	2週
		030325	石川県立中央病院		
		030484	京都民医連中央病院		
		030517	耳原総合病院		
	産婦人科	030325	石川県立中央病院	4週	
		030484	京都民医連中央病院		
		030517	耳原総合病院		
	精神科	030329	城北病院	4週	
		036235	松原病院		
	一般外来	030329	城北病院	4週	
病院で 定めた 必修 科目	整形外科	030329	城北病院	2週	0週
		030484	京都民医連中央病院		0週
	麻酔科	030329	城北病院	2週	0週
選択 科目	内科	030329	城北病院		週
		076913	富山協立病院		週
		030484	京都民医連中央病院		
	外科	030329	城北病院	24週（左 記の中か ら4～8 週選んで 選択でき る）	
		030484	京都民医連中央病院		
	小児科	030329	城北病院		
		030484	京都民医連中央病院		
		030325	石川県立中央病院		
		030517	耳原総合病院		
	整形外科	030329	城北病院		
		030484	京都民医連中央病院		
	地域医療	076913	富山協立病院		

		035122	珠洲市総合病院		
		035123	市立輪島病院		
		050035	公立宇出津総合病院		
		035125	公立穴水総合病院		
		033667	公立つるぎ病院		
		032990	城北診療所		
		032991	城北クリニック		
		032992	健生クリニック		
		035135	寺井病院		
		032988	輪島診療所		
		032989	羽咋診療所		
		126759	小松みなみ診療所		
		032968	水橋診療所		
		032969	富山診療所		
		076912	光陽生協病院		
		066780	光陽生協クリニック		
		066779	つるが生協診療所		
		168186	上荒屋クリニック		
	救急部門	030329	城北病院		
		030484	京都民医連中央病院		
		030325	石川県立中央病院		
	麻酔科	030329	城北病院		
	リウマチ科	030329	城北病院		
	産業医療科	030329	城北病院		
	リハビリテーション科	030329	城北病院		
	病理科	030329	城北病院		

## スケジュール概要

期間で区切られた各科カリキュラムと通年で行われるカリキュラムの2本立てで構成する。

### 1. 各科カリキュラム—必修科と選択研修

- ① 内科、地域医療、救急、外科、小児科、麻酔科、精神科、産婦人科、整形外科の9科を必修とする。
- ② 1年次に行わなくてはならない研修は、導入期研修、救急研修4週、内科研修20週とする。
- ③ ブロック研修として行う総合外来/救急研修は、午前もしくは午後いずれかに総合外来/救急研修を行う期間である。期間は8週間とする。総合外来は計4週となり、内科研修期間と兼ねる。救急外来研修は4週となり救急外来研修期間にカウントする。4週間ずつ切り離してもよい。地域医療研修の前に最低4週間は行うことが望ましい。
- ④ 基幹型である城北病院では、52週以上の研修を行う。

科目	期間（合計104週）	
内科	1年次に最低20週 合計28週 （ただし内科研修期間は32週になるが、救急研修との並行研修分を差し引いた）	当院もしくは、京都民医連中央病院、富山協立病院で行うが、当院以外での研修は最大8週とする 総合外来・救急研修期間に行われる一般外来研修は、内科研修期間とする（当院で実施） 内科32週のうち20週に救急1日/週を組み込み、20日分（4週）を救急でのカウントとする
救急科	17週（最低12週）	1年次5月に4週間のブロック研修を、日当直救急対応を開始する前に実施（当院で実施） 総合外来/救急研修の8週のうち午前もしくは午後いずれかの単位で行い、4週とする（当院で実施） 内科20週・外科8週のうち半日の救急研修を1～2回/週行い、その部分を5週とカウントする（⇒研修状況に合わせて12週を満たすように行う） 通年で行う日当直研修を、4週とカウントする（計30-40回あり）
地域医療	4週（出来るだけ8週以上行う）	協力型病院/施設で行う 選択研修とも組み合わせると最大24週（ただし、輪島診療所、羽咋診療所に限る）の研修が可能。最低4週以上研修すれば、複数個所で研修することも可能
外科	7週	当院または協力型病院で行う 当院で行う場合、8週のうち半日の救急研修を1～2回/週を組み込むので1週分は救急でのカウントとする。
小児科	8週	最初の4週は当院で行うことが望ましい
麻酔科	2週	救急研修期間にカウントすることもできる
整形外科	2週	当院または協力型病院で行う
精神科	4週	協力型病院で行うことが望ましい
産婦人科	4週	協力型病院で行う
選択研修	24週	詳細は各科カリキュラムに記載
導入期研修	1年次4月に4週	
一般外来研修	4週	総合外来/救急研修期間に行われる一般外来研修は、4週間行う。地域医療・内科・小児科ブロック研修中の外来もカウントできる（概ね2～4週程度）

### 2. 通年で行うカリキュラム

#### ① CPC/剖検・看取りの経験

最低1例は剖検症例を受け持ち、CPCプロトコール作成と参加、発表、レポート作成を行う。最低1例は死亡時の立ち合いをし、死亡診断書を記載する。

#### ② 地域担当

2年間を通じ担当地域を受け持つ。1～2ヶ月に1回行われる健康教室、保健予防活動や講習会、学習会に参加するとともに、可能であれば企画立案にも参加する。

③ 患者会

上級医とともに一つの患者会を担当する。各種学習会や企画に参加するとともに、会の運営や企画立案に参加する。

城北病院患者会：糖尿病（みのり会）、気管支喘息（若葉会）、透析（あすなろ会）、骨粗鬆症（こつこつクラブ）、がん患者（いきる会）、小児アトピー（ももたろうクラブ）、脳血管障害（青葉会）、等から選択し担当する。

④ 各種委員会

医療安全推進委員会、感染防止推進委員会、倫理委員会、拡大倫理委員会、ACLS 委員会、友の会委員会、院内医学生委員会などに担当委員として参加する。ただし、拡大倫理委員会は参加を必須とする。

⑤ 抄読会

開催される抄読会に参加することが望ましい。

⑥ 医療安全

院内で定期的に行われる医療安全の講習会に参加する。

⑦ 青年医師会

毎週金曜日 16 時から開催される青年医師会に参加し、自ら学習、企画運営する。

⑧ 制度教育

石川民医連職員制度教育を受講する。

備考： 基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 52 週

臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 6 か月（ただし、輪島診療所、羽咋診療所の場合のみ）

内科研修については、8 週間を協力型病院で行う事ができる。

2 年間を通じての救急部門の研修とみなす休日・夜間の当直回数・・・約 30～40 回

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号

病院施設番号： 030329

臨床研修病院の名称： 公益社団法人石川勤労者医療協会城北病院

は、既に取得されている場合に記入してください。

臨床研修病院群番号：

臨床研修病院群名：

6. 研修スケジュール (一年次・二年次：いずれかに○)

プログラム番号 030329403

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。\*1

(No. 1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分 野*2	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	13~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
凡例 ○×病院 (○×○×○×)	内科	5												
凡例 ▲■病院 (▲■▲■▲■)	外科	3												
凡例 △□病院 (△□△□△□)	外科			3										
城北病院(030329)	内科	3		2	2	2	1	2	2	2		1	1	2
	救急		3											
	外科			1	1					1	1	1	1	
	麻酔/整形外科					1	1	1						
	小児科						1					1	1	
	一般外来													1

\*1：臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

\*2：「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

\*3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。



プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号

病院施設番号： 030329

臨床研修病院の名称：公益社団法人石川勤労者医療協会城北病院

は、既に取得されている場合に記入してください。

臨床研修病院群番号：

臨床研修病院群名：

6. 研修スケジュール（一年次・二年次：いずれかに○）

プログラム番号 030329403

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。\* 1

(No. 1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修 分野 * 2	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	13~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
城北病院(030329)	内科	2	1	1										
	一般外 来						1				1			
	救急	1							1		1			
石川県立中央病院 (030325)	産婦人 科								1			1		
	小児科				1		1		1					
耳原総合病院 (030517)	産婦人 科						1							
松原病院(036235)	精神科		1		1							1		
協力施設群	地域医 療研修			1			1		1					
城北病院	選択研 修			1	1		2			1	1	3	3	3

\* 1：臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

\* 2：「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

\* 3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。